

古墳時代の生活

II-1

古墳時代になると人々のくらしのようすも大きく変化したようです。
 大陸との交流から得られた新しい技術や道具が広く使われるようになり、弥生時代より広く田や畑が営まれるようになりました。
 また、それまで各地方により、特色のある土器が作られていたのが、全国的にほぼ同じような形で文様のない土器(土器)が作られるようになり、住まいである竪穴住居もつくりが変化します。

II-1

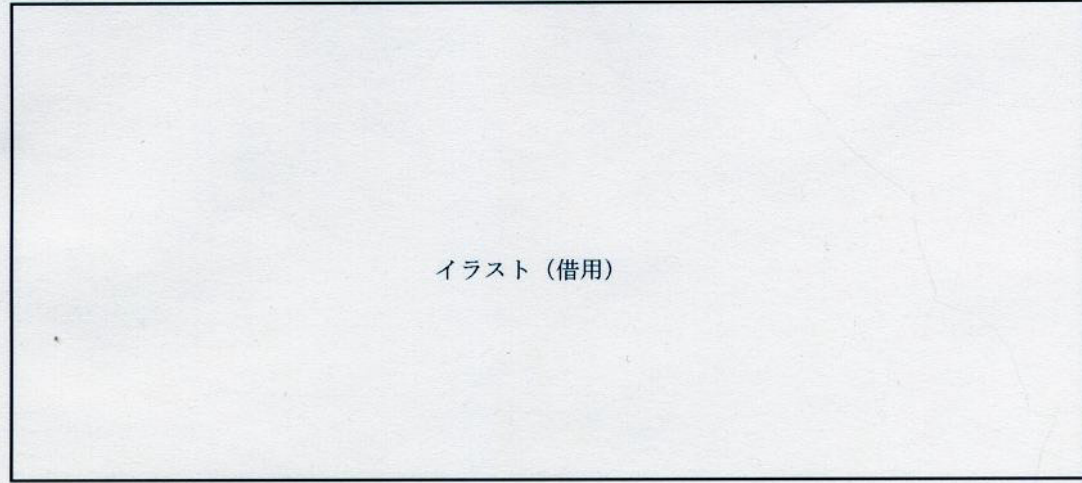


イラスト (借用)

II-1

住居のようす

一般の人々は竪穴住居に住んでいました。古墳時代の中ごろ(5世紀)になると、それまで住居の中央にあった炉を使う生活から、壁際につくられたカマドを使う生活へと変化します。これは家の中に台所のような場ができてきたことを意味しています。

II-2-①

住居のかたち

II-2-②-a



II-2-②-a



II-2-②-b



II-2-②-c

模型 (借用)

II-2-①